

2019年12月13日（金）開催
日本植物工場産業協会セミナーのご案内



14:00-
講演者：武林 周一郎 氏
（株式会社富士経済）

植物工場市場の最前線と将来展望

大手企業の事業参入や業務・加工分野への展開で注目を集める完全人工光型植物工場について、弊社発刊レポート「先進テクノロジーが変える!! 農林水産ビジネスの最前線と将来展望 2019」をベースに、その市場動向と将来予測に加え、参入プレーヤーや栽培技術、需要分野などのトレンドを解説します。

14:40-
講演者：横田 彩子 氏
（独立行政法人農林水産消費安全技術センター）

新たなJAS制度及び「人工光型植物工場における葉菜類の栽培環境管理」JASについて

平成29年6月のJAS法（日本農林規格等に関する法律）改正により、農林水産品・食品の品質に限定されていた規格の対象が、生産方法や取扱方法などに拡がりました。今回のセミナーではJAS制度の概要及びJAS認証を取得するための仕組みについてご説明いたします。さらに本年9月に制定された、人工光を用いて葉菜類を栽培している植物工場を対象とした栽培環境管理の方法を規定した規格について概要をご説明いたします。



15:30-
講演者：松本 浩祐 氏
（株式会社キッコーマンバイオケミファ）

植物工場の衛生管理 ～ATPふき取り検査（A3法）の活用～

ATPふき取り検査（A3法）は、誰でも簡単に10秒で汚れを数値化できる検査です。ルシパックというホルタルの酵素が入った試薬が、汚れと反応して光り、その光をルミテスターで数値に変えています。いろいろな検査法がある中で、現場で実践的に使えるため食品分野、医療分野、ハウスクリーニングの分野で多くのユーザーから支持を得ています。これからますます需要が伸びる植物工場の分野でも徐々にその活用が広がってきています。



16:10-
講演者：入澤 英寿 氏
（SGSジャパン株式会社）

GFSIベンチマークスキームと植物工場（仮）

人工光型植物工場における葉菜類の栽培環境管理の日本農林規格について、認証機関から見た審査ポイント、審査体系など、審査実施側からの視点でお伝えします。また、植物工場対応のGLOBAL GAP、SQFの特徴、認証動向についてお話しします。



2019年12月13日（金）開催 日本植物工場産業協会セミナーのご案内

- 13:30-14:00 セミナー受付
- 14:00-14:40 植物工場市場の最前線と将来展望
講演者：武林 周一郎 氏（株式会社富士経済）
- 14:40-15:20 新たなJAS制度及び「人工光型植物工場における葉菜類の栽培環境管理」JASについて
講演者：横田 彩子 氏（独立行政法人農林水産消費安全技術センター）
- 15:20-15:30 休憩（10分）
- 15:30-16:10 植物工場の衛生管理 ～ATPふき取り検査（A3法）の活用～
講演者：松本 浩祐 氏（株式会社キッコーマンバイオケミファ）
- 16:10-16:50 GFSIベンチマークスキームと植物工場（仮）
講演者：入澤 英寿 氏（SGSジャパン株式会社）
- 16:50-17:10 終了／名刺交換

■参加費について■

各団体 最大3名まで申込可

正会員 無料

一般会員 2人目以降、1人 2,000円

非会員 1人 10,000円

【日程】2019年12月13日（金）

【受付】13:30-14:00

【セミナー】14:00-17:10

〈場所〉

ウシオ電機株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5

丸の内北口ビルディング（受付17F）

セミナーに関する問い合わせ先：JPFIA事務局
E-mail: office@jpfia.org

